

この7月1日、社会福祉法人黎明会南台病院に赴任いたしました。よろしくお願ひいたします。小生は昭和44年（1969）、インターント闘争の嵐の中、12月に卒業の後母校の東京医科歯科大学第一内科に10年籍を置き、一般内科、呼吸器内科を研修、ついで診療、教育研究に携わりました。この間1年半ほど当時の西ベルリン市立ヘルスホルン呼吸器病院に留学、いや“遊学”、というのも学問もさることながら、かなりの時間とエネルギーをヨーロッパ中の旅行、オペラやオーケストラ、美術館巡りに費やしました。もちろんビール、ワインにも。それにベルリンには世界中の民族料理が揃っていました。この時期を挟んで昭和55年都立墨東病院に移り、以来都立



南台病院赴任に際して

南台病院 院長 田中健彦

荏原、豊島各2年を含め、計28年
余り内科、ことに呼吸器の急性期
の患者さんを中心して診療して来ま
した。もともとここ7年程は管理
が中心でしたが、このたび入院患
者さんの担当は久しぶり、療養型
病床は初めてです。皆様に教えて
いただきながら診療、病院運営に
携わっていきたいと思っています。
ところで南台病院は昭和32年
(1957)、社会福祉法人黎明会
がここ小平市西部で運営するいく
つかの福祉施設を利用する方々の
健康を守ることを主な目的に設立
され、以来半世紀にわたり地域の
方々にも、保健、診療、介護をは
じめ健診、在宅医療、健康相談等
を通じて貢献されて來たとお聞き
しています。そして黎明会や病院
の運営理念に沿って、心のこもっ
た対応、快適な診療環境、質の高

い医療を実践し、一昨年は日本医療機能評価機構の審査にも合格され、職員の皆様が日々心を合わせ良い医療を提供して来られた結果と思います。

ところでいま医療を取巻く環境には厳しいものがあります。我が国は平均寿命や新生児死亡率が世界のトップクラス、それでいて医療費は先進国の中では下位に近いという“効率の良さ”は医師をはじめ医療者の献身的な努力の賜です。近年この医療者の使命感はあって当然、さらには医療の効率や質の向上、説明と同意の基での診療が求められ、加えて医療の不確実性を理解しない訴え（大野病院事件）や過大な受療者の要求（モンスター・ペイシェント）があると、さすがに耐えかねて医師は“立ち去り”、地域中核病院の周産期医療、救急医療は崩壊するに至ります。お金だけで決着する話ではありませんが、医療費、福祉予算のシーリングが続く限り希望は持てません。イギリスの例を見るまでもなく、一度壊れた医療制度の立て直しは簡単ではありません。聰明で節度ある医療福祉の施策が望されます。

次に目を南台病院に移しますと、現在收支は何とかバランスが取れていますが安心できません。重大な懸案がいくつもあります。第一は国の療養病床削減の方針です。東京都は独自に七、〇〇〇床不足としていますが、当院は現状のままでよいのでしょうか。二つ目は救急診療体制です。小平市医師会

は準夜応急診療所への参画とその後方病床としての役割、すなわち二次救急を当院に期待しています。かつては当院も救急を扱っていたとお聞きしていますが、いま求められるレベルはかなり高く、医師、看護師、技師等の配置を厚く、あるいは外科、手術室が必要かもしません。三つ目は建物です。耐震性から少なくとも一部は改修が必要です。

さらに院内では第一にDPCです。すでに療養型病床を持つ病院もDPCを取り入れはじめています。当院も取り残されないようにしなければなりません。次に電子カルテです。医事会計はすでに電算化されており、オーダーリングを経て、あるいは一気に電子カルテに移行する必要があります。導入時に多少の戸惑いはあるにせよ、情報の共有化、医療安全、効率化には欠かせません。三つ目に医療機能評価認定更新です。今度は敷地内全面禁煙が避けられないでしょう。いずれも病院の経営基盤がしっかりとしていかなくては話が先には進みません。まずは皆さんが安心して楽しく誇りを持って働ける環境で、当会、当院の運営理念に沿って思う存分心と技を展開されれば必ずや患者さんや家族、そして地域の方々に支持され、おのずと順調な経営に帰すると思います。市医師会とも協調し、市社協等からの市民の要望にも応えつつ、以前にも増して地域に役立つ南台病院を、皆さん、一緒に創りましょう。

- 1 -

今年度、救護施設「あかつき」の介護職員として、黎明会に採用していただきました。

社会人のスタートを「あかつき」で迎えられたことを、私はとても光栄に思っています。あたたかい先輩職員・利用者の皆様に支えていただきながら、充実した毎日を過ごしております。学生時代には感じることのない、時の流れ

は感じるのなか、たまにこの流れの早さに驚かされ、時間の大切さを改めて実感している毎日です。

学生時代は、福祉・心理学を専攻しておりましたが、学業よりも仲間と過ごす時間が楽しく、私は仲間に会うために通学しているようなものでした。自分の進路を真剣に思い描こうともせず、自由な時間だけが、ただただ過ぎてゆく毎日でした。

精神保健福祉という分野に関する知識を寄せはじめたのは、そのような日常の中でした。受講した精神保健福祉分野の授業が、非常に興味深く、考えさせられる内容だったことから、関心を抱き、毎回の授業を心待ちするようになりました。次第に、精神保健福祉の領域へ職業として携わりたいと考えるようになりました。

また、そこで、同じ精神保健福祉領域の職業へ携わることを目指

黎明会に採用されて

あかつき 音田美香

そして「あかつき」での、新たな出会い。最初の出会いは、初出勤の日、玄関で私を迎えて下さった利用者さんでした。あたたかい言葉と表情で迎えて下さり、私の緊張は自然と解れました。以来、毎日が、新しい出会いと出来事の連続ですが、最初の出会いは、とても印象的な嬉しい出来事として、今後も私の記憶に残ることと思いります。

にもつ仲間と出会い、共に学べたことは、私にとって幸せなことでした。お互い励まし合い、高め合える仲間の存在は大きく、その仲間と過ごした時間は貴重なものとなりました。今でも繋がっている大切な存在であり、今後も私にとって大切な存在であり続けることと思います。

出会いの喜びを教えてくれた仲間に感謝すると共に、ひとつひとつのお会いを大切にしていこうと思います。

に渡り、利用者の皆様が、その人らしく生活するためのサポートをしています。ご縁があって、「あかつき」で共に生活されている利用者の皆様ですが、おひとりおひとりのライフスタイルがあります。皆様おひとりおひとりが、気持ちの良い毎日を過ごせるよう、私は心掛けております。

また、「あかつき」は、宿直勤務があるため、日中とは異なる夜の様子を知ることができ、利用者

留めておきたいと思つております。
「あかつき」で仕事をさせていただきはじめ、まもなく半年を迎えようとしております。現在、恵まれた環境の中で、私が業務に勤めることができているのは、自分を支えて下さっている方々のおかげであり、ご縁あってのことであると感謝しております。

自分のいる環境と、自分を支えて下さっている方々へ感謝する気持ちを忘れることがなく、日々成長していくければ幸いです。まだまだ勉強不足で皆様へご迷惑をお掛けしてばかりですが、今後とも、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。



澄水園 夏祭りを終えて

夏の恒例行事になつております「澄水園」夏祭り・盆おどり大会が、7月19日(土)午後4時30分から午後7時30分まで、南側グラウンドにおいて開催されました。数年間、中断していた時期もありましたが、利用者の皆さんがあつたが、盆おどりが大好きなことや夏の時期の行事が無い事などで6年ほど前から再開しています。

当初、スタッフだけで運営する事は非常に難しい状況でした。そこで協力して下さる団体を探して一緒に参加しながらお手伝いをしていただきました。最初から参加されている団体が多く、年々参加団体も増えてきています。

今年の参加団体は、平和自治会・小平ボーリスカウト連盟・小平ガーデンハイツ子供会・東小川橋防災連・ジャズダンスクラブ・キヤツツ愛・ぐりむ薬局・紫陽会等の近隣の地域の方々や、市内の福祉施設のあさやけ作業所・小平第二みどり作業所・障害者通所施設えるぽいん・肢体不自由父母の会の方々と法人内からは、のぞみ作業所・ケアホームやまびこ・南台病院と各施設の方々でした。

他に、ボランティアの方々も多数参加されて、利用者の付き添い等で協力していただきました。毎年行っている事は皆様のご協力あつた事と思っています。

特に今年度は、東京都から地域の拠点機能事業として補助金が支給され、やぐら等の会場設営と、仕掛け花火を用意しました。やぐらやテント・照明等を業者に委託したので立派な会場となり、花火は近隣との関係上、限られた内容になりましたが、仕掛け花火(ニアガラの滝)で最後を盛り上げられました。

アトラクションでは、紫陽会の方々が中心になって盆おどりを踊り、利用者の皆さんも輪の中に入つて楽しみました。又、子どもたちによるジャズダンスはしつかりとしたダンスに可愛らしさが加わり好評でした。

アトラクションでは、紫陽会の方々が中心になって盆おどりを踊り、利用者の皆さんも輪の中に入つて楽しみました。又、子どもたちによるジャズダンスはしつかりとしたダンスに可愛らしさが加わり好評でした。



澄水園 夏まつり

を楽しみながら黎明会への理解を深めていただける機会にもなっています。

今年もたくさんの皆さんのが参加されて、楽しい一日を過ごしました。
(澄水園 深町)

やすらぎの園サービスセンター いきいきセンターサマ祭り

やすらぎの園サービスセンターでは、7月24・25・26日の3日間、恒例の夏祭りを開きました。

今年は、より広い会場を求めて、職員による手作りの小さなやぐらを建てての、屋外での開催となりました。

霧岡気作りのためにと、利用者の皆さんと一緒に、まず、紙ちょうちん作りをしました。

色画用紙にちようちん柄を印刷してから、はさみで切り抜くのも一苦労、ホッチキスを力一杯押すのも一苦労でしたが、皆でワイワイと賑やかに、楽しみながら作業が進んでいきました。

また、この夏祭りの盆踊りで使えるようにと、染色の活動時間の中で手拭いを作成しました。さらしの布を裁断し、ぼかしを入れながらまず地染めする。その上に利

用者さんが思い思いに祭らしい絵柄を型染めしたり、手描きしたりして、素敵な手拭いに仕上げました。そして、この手拭いが活躍しました。たのは、踊りの小道具に手拭いを使う「小平音頭」です。

暑い中ではありましたが、ボランティアさんの力強い太鼓に合わせて、お馴染みの東京音頭や炭坑節、さらにキラキラのズンドコ節などで踊るきよしのズンドコ節などで存分に盆踊りを楽しむことが出来ました。

屋台風メニューの昼食の後は、 スイカ割り、ゲーム等で盛り上がり大盛況でした。



威勢の良い太鼓とともに

囲碁ボランティア

或る高齢者の回顧・隨筆

あかつき ボランティア 三宅 正人

仕事からフリーになつたら永年親しんだ趣味の囲碁で少しでも社会のお役に立ちたいと思っていたところ、非営利団体の日本福祉囲碁協会を知り平成10年末同協会に入会した。障害者施設や老人ホームには碁が打ちたいのに相手がないという人のために、協会から派遣されて月に数回施設を訪問している。

訪問先で最も印象に残っているのは、元ハンセン病患者が社会復帰できないまま集団生活している多摩全生園である。月1回の訪問日には、私達ボランティア棋士約10名を笑顔で迎えてくれるが、皆さん例外なく末梢神経が犯されており、その後遺症のため碁石を指先でつかめず、スプーンで掬っては盤上に置いている姿には感動さえ覚える。

訪問先で接する人々の明るさ、健気さと前向きな姿勢にまず驚き、これまで長い間、身体的・社会的・精神的にひどく苦労されて来られたのにこの明るさは何処から来る

のだろうかと思い続けていた。ところが永年お付き合いしていると、自分達の苦労より「本当に長い間社会の皆さんに何等お役に立つ事もなく、何十年間も食べさせてもらい本当に世話になっています」と、心からの感謝の言葉をされた方がいる。

ご本人の全てを許容する悟りの心境と、今、碁の向上めざして努力している喜びが滲み出ている様が、この明るさの素だと理解出来るようになつた。

この10年間の囲碁ボランティア活動には前述した様に、心と心の「ふれあい」が大切であり、誰かのためにやってあげているというのでは決してない。そんな気持ちが少しでもあれば相手は敏感に感じ取り逆効果になつてしまふ。

ボランティアの報酬は「喜び」という喜びを感じている。

だと云われるが私には生き甲斐といふ施設訪問を続けて行きたい。



◆介護老人保健施設・けやきの郷

敬老の日



心地よい風が吹き抜けました

品の贈呈がありました。
昼食はお祝い膳とおやつには和菓子をお召し上がりになりました。

通所ご利用の方は、9月11・

12・13日の3日間を敬老週間と

して茶菓子を召し上がりながら、職員による余興、そして小平マジック連合会の皆さんによる不思議なマジックの演出には、釘付けになつてご覧頂きました。

(足立)

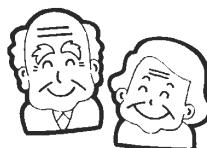
◆有料老人ホーム・熱海ゆとりあの郷

「熱海ゆとりあの郷」では、9月15日午前11時より、敬老の日を祝しセンター棟においてご入居の皆さんと職員が出席して敬老祭を開催しました。

敬老祭は支配人の祝辞のあと、米寿8名、卒寿12名、百歳1名の方々に対し、花束を贈呈しました。

このあと、記念撮影があり、昼食はお祝い膳で長寿を祝福しました。

(植手)



一般職研修に参加して

けやきの郷 丸山智絵

今回の研修では、利用者や家族、職員や上司から「期待される職員像」というのをテーマに皆で話しましたが、今まで真剣に考えたことがないテーマだったので、勉強になることが多かったです。まず始めに、「期待される職員像」を自分なりに考え、周りの人と照らし合わせるのですが、意外と出て来ないことに気付きました。
「责任感がある」、「安心感を与える」等、基本的なことしか出て来ませんでした。

各々、幾つか自分の考えた職員像を出し合うと、数は沢山になりましたが、同じ種類ごとに分けてみると、そのほとんどが、少ないグループに分けられ、驚きました。結果として、私が考えた「期待される職員像」というのは、ほとんどの人が同じような像を考えていることを知り、目標にしやすいと思いました。でも、このように出てきた、基本的なことが少しきり出来る職員を目指すというのは、簡単な様で、実はとても難しいのではないかと、思いました。また、職種が違う人達とも、同じような意見でまとまり、どの業種でも、求められる人材は同じなのだなと感じました。

仕事を始めて5年経ちますが、今までただ漠然と仕事をしてきた様に思います。

今回このような研修で、初めて「期待される職員像とは?」「どのような職員を目指せば良いのか?」と考え、このまま良いのかと、自分を見つめ直す良い機会になりました。

最後に、交流分析(TA)のひとつ、「エゴグラム」という心理テストを行いました。精神分析の治療の為に開発され、多くの企業や学校で活用されているそうです。が、たった60問の質問に答えるだけで、自我状態を知ることが出来ます。

私の場合、ほぼ予想通りの結果でしたが、こんなにも、当てはまる部門と、そうでない部門に差が出るのは思っていませんでした。自分がことを知ることは、対人関係の形成や、仕事をする上で重要なことだと思います。私が思っている自分と、相手が思っている私は、もしかしたら大いぶ違うかも知れないと、考えることも必要なのだと思います。自分の長所をさらに伸ばし、短所を改善出来るよう努力し、必要とされる職員を目指して頑張っていきたいと思いました。

これまでのスタート。周りの利用者や業務をなんとかこなすことはできましたが、係長と職務には戸惑いを隠せず、迷惑を掛けながら日々でした。そんな時に、法人主催の係長研修を受ける機会がありました。

当日の流れですが、午前中は、「人材育成とリーダーシップ」「状況対応のリーダーシップ」といった講義中心の内容でした。午後は、「人材育成のトータルシステム」「OJTの推進」といった議題での講義。最後に、「育成面接のあり方」として、育成面接という場面でのロールプレイを行うことになりました。それぞれのグループで係長役、部下役を決め、限られた時間で課題をクリアしていく内容。私のグループでは話し合いの結果、じゃんけんで決めることがなり、幸いにも私自身は部下役をやることとなりました。部下役は、面接中の課題もなく自由に振舞える為、難なくこなせました。反対に係長役となつた人は、何点かの

係長研修に参加して

黎明寮 日比谷幸伸

長年慣れ親しんだ職場を異動することとなり、4月より不安を抱えてのスタート。周りの利用者やスタッフに助けられながら、日常生活をなんとかこなすことはできましたが、係長と職務には戸惑いを隠せず、迷惑を掛けながら日々でした。そんな時に、法人主催の係長研修を受けた機会がありました。

その後、面接時の上司の心構えといったものを教わりました。相手の話をよく聴く・一緒にやつていくという姿勢で安心感を持たせる・最初の言葉掛けで面接時の雰囲気作り・しっかりと褒め、要望についてはあいまいでなくハッキリ述べるなどどこかで聞いたことがあります。これらのことについては、普段の利用者との面接の中でも行わなければいけないことであります。これらのことについても行わなければいけないこともあります。これらのことについても、普段の業務の重要性を改めて知り、顧みる場としていい機会でした。

最後になりましたが、当日の講師をしてくださった村松先生どうもありがとうございました。

要望を時間内に、それも会話の流れに沿いながら、自然に伝えなければいけない為、苦慮されている姿が見られました。他の人々は、その面接場面を観察した後で、意見をそれぞれ述べるといった内容でした。

その後、面接時の上司の心構えといったものを教わりました。相手の話をよく聴く・一緒にやつていくという姿勢で安心感を持たせる・最初の言葉掛けで面接時の雰囲気作り・しっかりと褒め、要望についてはあいまいでなくハッキリ述べるなどどこかで聞いたことがあります。これらのことについては、普段の利用者との面接の中でも行わなければいけないことであります。これらのことについても、普段の業務の重要性を改めて知り、顧みる場としていい機会でした。



平成20年度

自衛消防訓練審査会

黎明寮 橋本 知侑

6月18日(水)丸井研修総合センター総合グラウンドにて、平成20年度自衛消防訓練審査会が行われました。結果は3年連続の敢闘賞(第4位)。

なかなか勤務が合わず、練習に全員が揃ったのも、わずか3・4回でしたが、(運良く?)敢闘賞を取れたことで、正直ホッとしています。

振り返れば、顔合わせ初日。同じ敷地内で働いているにも関わらず、初対面の人ばかりで、挨拶や会話がきこちない中、昨年の審査会のビデオを見たのを思い出します。ビデオの中の自衛消防隊は、とても気合いの入った大きな声を出し、どこかの国の軍隊のようにピシッとしていました。“こんなのが本当にやるの?”、“セリフ覚えられる?”皆、そんな心境だったと思います。

最初の練習は、まるで学芸会の練習レベル!。とりあえずセリフ覚えよう・大きな声出しどきやなんとかなる。そんな楽観的な気持ちでいました。その後、株式会社ブリヂストン

との合同練習が始まり、圧倒的なレベルの違いを見せつけられてから、少しずつ皆の顔つきが変わっていました。

【このままじゃマズい!】

それ以降、お互い声を出し合い、動きの確認や、どうしたらもっと効率がよい動作が出来るか等、話し合うようになりました。

審査会当日は、不安や緊張もあり、多少のミスはあったものの、全力で練習の成果を出し切れたと思います。審査される消火活動は、5分程度のですが、実際、活動している間は、頭が真っ白で、一瞬で終わってしまったというのが正直な感想です。

月並みではありますが、今回の自衛消防訓練で、改めて“チームワークの大切さ”や“息を合わせることの大変さ”を再認識しました。この経験を今後の業務に活かせるよう心掛けたいと思います。

来年度のメンバーには、ぜひ優勝を取つてきてもらえるよう、期待しましょ!!

茶道クラブボランティア

救護施設「あかつき」 佐藤雅子

月に一度「喫茶オアシス」に伺っております、4階の和室がお茶室用に床の間、水屋もありました。そこで茶道クラブの指導をお願いされ、微力ながら始めてみました。それが2003年7月からでした。

「表ですか、裏ですか」と聞かれますが、千利休の孫方何名かで月に一度行っています。お茶と言えば女性のように思われますが、クラブの方は男性の方の参加が多いです。「もう一服いかがですか」「はい頂きます」の言葉でもう一服お茶を点てています。

最近クラブの方の参加が少なくなっておりまして、一人でも多く出席して頂けるよう頑張りたいですね。和室でのお茶は座るのが大変なので、椅子と机の立札も取り入れながら参加しやすい様に考えています。1時間位を和の雰囲気、暮らしの中の非日常、一期一会を大切に、長く続けて行かなければと思つております。

季節のお茶花を床の間に掛け、着物姿で雰囲気が出るよう心がけております。和菓子は特に季節感が表われていますので皆様には大変喜ばれます。

最初はお茶道具が揃つていませんでした。最初はお茶道具が揃つていませんでしたが、赤い毛せん、野点傘、数茶盤、お揃いの洋服の上から着られるベスト(お茶を運ぶ時に着用)運び服紗、茶筅等々揃えて頂きました。

これからも宜しく願い致しま

施設リポート

◆平成20年度第1回

理事会・評議員会

平成20年5月20日2時から日本アルカディア市ヶ谷において、平成20年度第1回理事会・評議員会を開催しました。

会は理事長の挨拶で始まり、平成19年度事業報告(案)、平成19年度収支決算(案)、病院長及び役員の任免(案)等について審議し、全会一致で承認されました。

(岩本)

◆偲ぶ会・盆踊り

去る平成20年8月21日に救護施設あかつきに於きまして、偲ぶ会・盆踊り会を行いました。

午前中に行なわれた偲ぶ会は、数年前までは小川寺の御住職にお経を上げてもらつた後、お話ををしていただいておりましたが、現在は亡くなられた方のお名前を前に献花をして手を合わせ、その後にお亡くなりになられた方を思いながら「故郷」見上げてごらん夜の星を、千の風になつて「を合唱して送つております。

午後は霧曲気をがらりと変えて盆踊りを室内で行なります。



うのですが、参加した皆さん滝のよう汗をかきながら踊りました。

踊って食べて自然と笑顔となつていて、それを見ていると、亡くなられた方もつられて笑顔になつていることだろうと、私自身も笑顔で思いをめぐらせていました。

(小林)

◆七月一泊旅行『湯村温泉』

黎明寮では、7月10日・11日の一泊二日で山梨県甲府市にある湯村温泉に旅行に行き、「常盤ホテル」「宿泊。利用者12名、職員5名、

計17名参加。

・行程(一泊目)

黎明寮出発→国立府中→談合坂
↓河口湖→足和田ホテル(昼食)
↓河口湖猿まわし劇場(見学)→
湯村温泉「常盤ホテル」到着

(二日目)

ホテル出発→昇仙峡(散策)→石和常盤ホテル(昼食)→宮御坂→

談合坂→国立府中→到着。

一日目の猿まわしでは、猿の芸を見て利用者の表情が和らいでいたのが印象的であった。

二日目の昇仙峡では仙が滝に行く階段があり、足の不自由な方は滝まで辿り着けず残念であった。ゆつたりとしたプランの中、新緑を楽しみ、可愛らしい猿に愈された旅行であったと思う。

(川達)

保護者の方々のご協力も得て、好評の内に終了いたしました。

ご来場、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。(中島)

◆役員の交代

〈就任〉 7月1日付

理事・評議員

田 中 健 彦
(南台病院 院長)

山 田 克 浩
(南台病院 名誉院長)

◆人事異動

〈新任〉 7月1日付

南台病院 院長
田 中 健 彦
(都立墨東病院副院長)

法人本部 総務部長
岩 本 昭 一
(異動・昇任) 8月1日付

法人本部 財務部長
島 山 健
(南台病院 企画課長)

法人本部 総務部次長
都 丸 繁
(南台病院 総務課長)

での一週間、小川駅近くの「NM Cギャラリー」で作品展を開催しました。作品は毎月2回土曜日に実施しているクラブ活動で利用者、指導してくれるボランティアの先生との共同作業の作品。書道、絵画、イラスト、陶芸など力作ばかりです。

黒木規子
(法人本部 総務課総務係長)
6月30日付
◆退任
法人本部 総務課長
崎村徹裕
南台病院 院長
山田克浩

お知らせ

◆黎明寮・あかつき

合同秋祭りのお知らせ

黎明寮では今年で3回目となる秋祭りを10月19日に開催いたします。尚、今年はあかつきと合同での秋祭りとなります。18日はあかつきでは文化祭があり、翌日に黎明会グラウンドで秋祭りを行います。模擬店は焼きそば、豚汁、焼き芋、大判焼き、ゲーム等盛りだくさん。またフリーマーケット、作業所出店もあります。

イベントは手作り楽器演奏、子供たちのダンス披露、ジャグリング、デキシーバンド、八王子太鼓グループ等、こちらも盛りだくさんです。

雨天時、イベントは午前黎明寮1階食堂、午後はあかつき集会室となり、フリー・マーケットは中止、模擬店は野外テントとなります。地域交流を深めていくお祭り、楽しい企画が盛りだくさんの秋祭りを考えております。是非お誘い合わせのうえ、お越しください。

(酒井)

